

事務事業名	真岡木綿会館管理運営事業			担当	産業部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり		増補版施策名			
施策名	4	観光の振興		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成20年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市真岡木綿会館設置及び管理条例						
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1. 商工費		3. 観光費		
事業概要	木綿会館は、平成19年度に真岡木綿の機織りや染色等の体験事業によって、真岡木綿の更なる普及推進を図り、観光の振興に資することを目的に整備し、平成20年4月に開館し、真岡商工会議所を指定管理者として管理運営を行っている。（平成25年度～29年度）、平成21年度に大型バス3台、普通車20台、軽自動車4台分の駐車場を整備した。平成27年度に木綿会館西側に普通車11台分の駐車場を整備した。 施設概要 面積 588.14平米、延床面積380.08平米（114.75坪）構造 鉄骨2階建瓦葺、1階 生産・見学工房、染色・染色体験工房、展示ホール、事務室、倉庫等 2階 機織体験工房、機織体験レクチャー室兼会議室、給湯室等 毎週火曜日休館、但し祝日の場合は翌日。年末年始（12/29～1/3）開館時間 午前10時～午後5時まで。平成30年4月1日から35年3月31日の5年間の指定管理者が観光協会となる。 平成30年度に再整備事業によりショップ 床面積約77平米、ウッドデッキ約93平米等を増築した。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 年度協定の締結及び指定管理料の支払い、指定管理者への指導。 まちのお休み処「もめん茶屋」の指定管理者選定を行い、静風に決定。 10月29日に久保記念観光文化交流館周年イベントに併せて開店。 国の地方創生拠点整備事業を活用し、ショップの増築やウッドデッキの敷設整備工事を実施。 31年度計画 年度協定の締結及び指定管理料の支払い、指定管理者への指導。 増築したショップ等のリニューアル式典を開催し、まちのお休み処「もめん茶屋」を含む周辺地域に交流人口の増加を目指す。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 指定管理料</td> <td>千円</td> <td>8,137</td> <td>8,133</td> <td>10,254</td> <td>8,028</td> <td>8,364</td> </tr> <tr> <td>イ 駐車場整備費</td> <td>千円</td> <td>8,301</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ 木綿会館南側周辺整備費</td> <td>千円</td> <td></td> <td>41,796</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ 木綿保存振興補助費</td> <td>千円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>6,699</td> <td>6,699</td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 指定管理料	千円	8,137	8,133	10,254	8,028	8,364	イ 駐車場整備費	千円	8,301					ウ 木綿会館南側周辺整備費	千円		41,796				エ 木綿保存振興補助費	千円				6,699	6,699	オ					
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
ア 指定管理料	千円	8,137	8,133	10,254	8,028	8,364																																										
イ 駐車場整備費	千円	8,301																																														
ウ 木綿会館南側周辺整備費	千円		41,796																																													
エ 木綿保存振興補助費	千円				6,699	6,699																																										
オ																																																
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡木綿会館の来館者数（機織り、染色体験者含）	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 木綿会館来館者数</td> <td>人</td> <td>9,729</td> <td>9,962</td> <td>9,980</td> <td>10,554</td> <td>11,000</td> </tr> <tr> <td>イ 内 機織り、染色体験者数</td> <td>人</td> <td>2,065</td> <td>1,959</td> <td>2,191</td> <td>2,067</td> <td>2,100</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 木綿会館来館者数	人	9,729	9,962	9,980	10,554	11,000	イ 内 機織り、染色体験者数	人	2,065	1,959	2,191	2,067	2,100	ウ							エ							オ					
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
ア 木綿会館来館者数	人	9,729	9,962	9,980	10,554	11,000																																										
イ 内 機織り、染色体験者数	人	2,065	1,959	2,191	2,067	2,100																																										
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 観光を振興し、真岡木綿会館を適正に管理し多くの人に来場してもらい真岡木綿の推進普及を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 真岡木綿販売額（観光物産館販売額）</td> <td>千円</td> <td>2,721</td> <td>2,757</td> <td>2,934</td> <td>2,736</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 真岡木綿販売額（観光物産館販売額）	千円	2,721	2,757	2,934	2,736		イ							ウ							エ							オ					
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
ア 真岡木綿販売額（観光物産館販売額）	千円	2,721	2,757	2,934	2,736																																											
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 真岡木綿の普及により真岡市の観光振興が図られ、来訪する観光客を増やす。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> <th>27年度(実績)</th> <th>28年度(実績)</th> <th>29年度(実績)</th> <th>30年度(実績)</th> <th>31年度(見込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 真岡市を訪れた観光客数</td> <td>人</td> <td>2,865,612</td> <td>2,912,127</td> <td>2,990,649</td> <td>2,957,327</td> <td>3,000,000</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,612	2,912,127	2,990,649	2,957,327	3,000,000	イ							ウ							エ							オ					
名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)																																										
ア 真岡市を訪れた観光客数	人	2,865,612	2,912,127	2,990,649	2,957,327	3,000,000																																										
イ																																																
ウ																																																
エ																																																
オ																																																
(2) 総事業費の推移																																																
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0																																							
			県支出金	千円	0	0	0	0	0																																							
			地方債	千円	0	0	0	0	0																																							
			その他	千円	0	0	0	0	0																																							
			一般財源	千円	16,438	49,929	10,254	14,727	15,063																																							
			事業費計(A)	千円	16,438	49,929	10,254	14,727	15,063																																							
人件費			正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2																																							
			延べ業務時間	時間	135	135	135	135	135																																							
			人件費計(B)	千円	566	561	560	563	563																																							
トータルコスト(A)+(B)				千円	17,004	50,490	10,814	15,290	15,626																																							

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成18年度に織姫のうち4人が県伝統工芸士に認定されたのを契機に、平成19年度に真岡木綿の更なる普及推進、観光振興と中心市街地活性化の拠点施設として真岡木綿工房を整備し、平成20年4月に開館した。 平成30年度にショップ（販売店舗）等を増築した（建物約77平米、ウッドデッキ約93平米）
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成12年に旧岡部宅を改装して木綿工房を整備し織姫の生産場所が確保された。また、機織体験は、木綿工房に隣接する真岡市物産会館の2階を会場に木綿工房の織姫が指導して行われるようになった。真岡木綿のPR推進に伴い木綿工房の入館者と機織体験者が増加してきた。（但し、受け入れ人数は20人が限度。体験用機織り機が20台しかなく、織姫14人が常時工房で生産できなかった）木綿会館を整備したことにより、入館者と体験者が更に増加した。（体験受け入れ最大人数：機織40名、染色30名） 指定管理期間 H25.4～H30.3 指定管理期間満了に伴う指定管理者の選定を実施。 真岡市観光協会 H30.4～H35.3
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	真岡木綿の更なるPR。 新商品の製作。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡木綿の普及推進と観光振興が木綿会館の目的であり、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡木綿会館は市の施設であり、市が行うべき管理運営を、真岡商工会議所が指定管理者となり運営しており妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 真岡木綿の展示及び生産工程が見学できるほか、機織や染色体験もできる木綿会館は、真岡市の観光振興に寄与するので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 23年度は震災の影響により来客数は減少したが、22年度までは毎年来客数が増え、一定の成果を上げており向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 観光における真岡木綿の情報発信拠点がなくなり、普及推進が図れなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理運営費に係わる必要最低限の経費であり、削減できない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理運営の委託事務で、市の人件費は最小限であり削減困難である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。また観光客から機織体験時に料金を徴収しており公平である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（ <input type="checkbox"/> ：目的妥当性 <input type="checkbox"/> ：有効性 <input type="checkbox"/> ：効率性 <input type="checkbox"/> ：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							